

科目名		単位数		対象年次	履修	開講回数	必要 面接時数	添削 指導回数
保育基礎Ⅰ		前期	1	2年次	選択	12	5	3
		後期	1			12	5	3
使用教科書		実教出版 707 保育基礎						
科目の概要		どのようにしたら生き生きと成長していくことができるのか、子どもの育ちについて学んでいきます。また、保育の学習を通して新たな「自分」を発見することもねらいとしています。						
年間 学習 計画	学習内容		主な学習のポイント			面接指導	添削課題	
	・保育の意義① ・保育の方法①		○子どもが成長する中で行われる儀式について知る。 ○保育の意義と重要性について、保育が人間形成にどのようにかかわるかを考える。			前期 1～4	No.1	
	・保育の意義② ・保育の方法②		○保育者にはどのような資質が求められるか、またそれを身につけるにはどのようにしたらよいかなどの考察を深める。 ○保育の場の特徴を理解する。			前期 5～8	No.2	
	・保育の環境 ・子どもの発達の特性① ・子どものからだの発達①		○家庭での保育の現状や幼児教育・保育の場（幼稚園や保育所、認定こども園など）の保育環境の特徴や役割を理解する。 ○子どもを取り巻く社会環境の変化や保育の課題について理解し、子どもの健やかな発達のために適切な保育環境について考察する。			前期 9～12	No.3	
	・子どもの発達の特性② ・子どものからだの発達②		○子どものからだの大きさを理解する。 ○子どもが発達していくには周りの環境が関係していることを理解する。 ○子どもへの声掛けのしかたや関わり方を理解する。 ○幼児期は人の発育・発達において大切な時期であり、共通性や個別性といった特性があることを理解する。			後期 1～4	No.4	
	・子どものからだの発達③ ・子どもの心の発達①		○乳幼児期の身体的特徴と生理的特徴をとらえ、新生児期から乳幼児期へと続く人の発達の過程を理解する。 ○心の発達の土台として大切な愛着関係の形成過程について学び、親子関係の形成と人間関係のひろがりについて考える。			後期 5～8	No.5	
	・子どもの心の発達②		○心の発達の土台として大切な愛着関係の形成過程について学び、親子関係の形成と人間関係のひろがりについて考える。 ○知的発達、言葉の発達、社会性・情緒など様々な側面から、子どもの心の発達をとらえる。			後期 9～12	No.6	
評価 方法	・面接指導（スクーリング）への取り組み(意欲、興味、関心、理解度など) ・添削課題（レポート） ・試験（テスト）							
単位 修得	・面接指導（スクーリング）は、前期・後期各5時間以上出席してください。 ・添削課題（レポート）を前期・後期各3回提出してください。 ・2年次で2単位修得します。							